



白萩

学校だより「しらはぎ」
令和6年 12月号
あきる野市立増戸中学校
編集：副校長 中山恵施

通学の思い出

校長 木下美彦

晴天の日が続きますが寒さも本格的になってきました。2学期も終盤です。1、2学年は保護者会、3学年は三者面談に来校いただきました。現在、学期を振り返りまとめの取組を行っています。今後とも御意見をいただきながら、改善を図ってまいります。

11月後半からは特にあきる野市の様々な事業が展開しています。中学生が参加し発表するなどの場面が多くあります。マールボロウ市との国際交流事業では11月29日～12月6日の派遣、あきる野市教育の日の7日には中学生の主張大会、8日は防災コンクールが実施され、14日には秋川流域駅伝大会が開催されます。生徒の積極的な姿勢が頼もしく感じます。

国では12月4日～10日の1週間を「人権週間」と定めています。中学生の主張大会は、自分の意見を述べる良い機会でした。環境問題や戦争のこと、いじめや様々な差別のことなど、自分の思いを自分の言葉で伝える市内14名の中学生の姿でした。この生徒だけではなく、あきる野の中学生たちはこれからも学び続け、大人になることでしょう。

さて、先日新聞を読んでいましたら、「青梅線開通130周年」という記事がありました。そこで、青梅線の歴史が展示されている青梅市郷土博物館と福生市郷土資料室に行きました。私は中学を卒業し、五日市線や青梅線に乗って通学しました。もっと幼い頃には青梅の映画館や立川のデパートに行ったこともありました。鉄道が生活の一部でした。チョコレート色のボディの車両、満員電車の時のこと、拝島駅で待っている時の寒さなど次々思い出させる展示でした。歴史をたどれば青梅鉄道として石灰石の輸送から始まり、観光業にも連動します。多摩川の川原の碎石を関東大震災後の復興や明治神宮の敷石に運んだことや太平洋戦争の頃のことなど、西多摩の歴史の一端がわかりました。

交通手段は多様ですが、やがて進学や就職で学区外で活動する人が多くなることでしょう。身近な歴史も学びながら、視野を広げ、人権感覚を磨いてもらいたいと思いました。

今学期も保護者・地域の皆様の御理解と御協力の下、教育活動を進めることができました。ありがとうございました。これからも感染症に注意され冬季休業日をお迎えください。



中学生の主張大会にて

年末年始における緊急連絡についてのお知らせ

令和6年12月28日（土）から令和7年1月5日（日）までの期間は、学校が休業するため、直接の連絡はできません。生徒の命に関わる重大事案（交通事故や自然災害等）など、この期間に緊急で学校と連絡を取る必要が生じた場合には、あきる野市役所の代表番号（042-558-1111）にお電話ください。休日・夜間の担当者から教育委員会の職員を通じて、校長等に連絡をいたします。

なお、学用品の忘れ物や部活動の出欠席等の連絡については対応致しかねますので御了承ください。

（あきる野市教育委員会指導室）